

# Css 2.1 position プロパティの設定

## ポジションプロパティを学ぶ。

最後の方に学ぶポジションプロパティは 実効条件が複雑でブラウザによっては誤動作を起こす厄介なプロパティです。

しかし 理解してつかってもらうことで レイアウトの自由度があがる。 しかも CSS3 や Javascript での制御もポジションプロパティを理解していないと

面白い演出のサイトを実現できないことがおおい。 float プロパティとの併用で 適材適所のレイアウトを実現してほしい。 サイトデザインの上で知っておきたいプロパティです。

注意： ポジションプロパティの特製を理解して使用しないとレイアウト崩れがおきやすい。柔軟なレイアウトはフロートレイアウトです。ポジションレイアウトを中心にサイトレイアウトすると非常に手間がかかります。

メンテナンスも時間がかかるでしょう。

相対 position: relative;

相対設定されたタグはその支配下の子要素が絶対は位置される。 指定したタグはデフォルトの要素の配置になる。

絶対 position: absolute;

親要素に相対配置が指定されていた場合。 プロパティ top right bottom left の数値の座標で配置される。

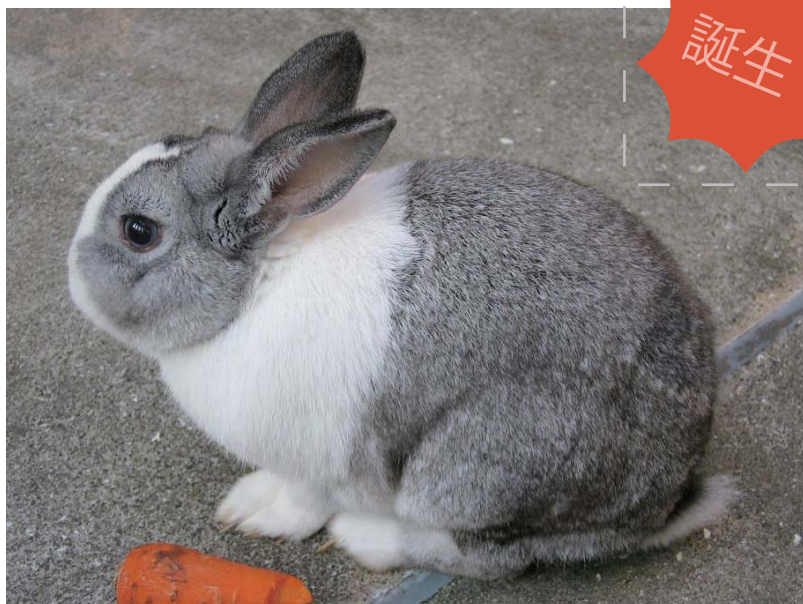
親要素に相対配置がされていなければ root body 要素から 絶対配置される。

固定 position: fixed;

root body 要素から 絶対配置される。 ie6 は読み込まず無視してくれればいいが レンダリングバグを起こす。

回避方法はいろいろ サイトを検索してください。 要素構造 で回避方法がちがいますので ここでは省略します。

## こんな感じのレンダリングにしたい場合



写真の上に 誕生と書いたアイコンが乗っかっている様子を再現したい場合。

## Css 2.1 positon プロパティの設定



図 1

### code

```
<div id="parent">
  
  
</div>
```

Css の宣言がないと図 1 のようなレンダリングになります。

タグをセレクタで指定しやすいように class もしくは Id 属性を指定しておく。ここでは class=" up" を次男の要素に属性として書いています。

包括タグ「親タグ」にあたる

- 1 div#parent に 高さ幅を css で宣言し。
- 2 position relative を宣言する。

包括されているタグ 子要素 ここでは img 要素に

- 1 position: absolute; を設定する。
- 2 top、right、bottom、left の 上下左右いずれかの片方のプロパティで指定したい値をいれる。

ポジションレイアウトしたくない子要素には position 設定しなくてよい。 例では土台になる class=" base" は入れない。

### code

```
/* 親要素 */      /* 子要素 */
div#parent{      div#parent img.up {
  positon:relative; position:absolute;
  height:225px;    right:-10px
  width:300px;     top:-10px;
}                  }
```

## Css 2.1 position プロパティの設定

図 2



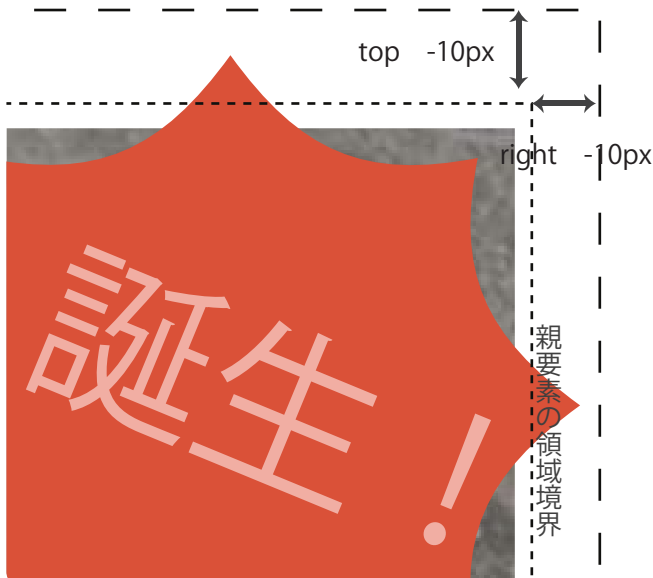
左から 10px 上から 10px 外にでたところで描画されるはずです。

```
/* 子要素 */  
div#parent img.up {  
  position:absolute;  
  right:-10px  
  top:-10px;  
}
```

img 要素 右から - 10px  
上から - 10px  
の所を基準にレンダリングされる

### 拡大図

子要素の領域境界



code

```
/* 親要素 */      /* 子要素 */  
div#parent{      div#parent img.up {  
  position:relative;  position:absolute;  
  height:225px;      right:-10px  
  width:300px;        top:-10px;  
}                    }
```

left right top bottom の値は  
値は基準点から要素の内側が正  
外側が負の数値がはいる

### まとめ

親要素には 幅 と高さを必ず宣言する。  
親要素には 相対配置を宣言する。  
子要素には 絶対配置を宣言する。  
子要素に位置のプロパティを入れる。

**position:fixed;** は IE6 ではつかえないので  
代替案を考えること。